

## 個展や商店街イベント企画



現代アートギャラリー「Em project」

(エムエムプロジェクト)

(広島県安芸太田町)

水野 美奈子さん(57)

広島県安芸太田町の加計商店街から約500m。国道186号沿いの空き店舗を改装したギャラリーで、企画展やイベントを開く。「アートの力で古里にぎわいを」。約25年暮らした米国から地元に戻り、2015年9月に始めた。廃校になった小中学校の備品や卒業制作を並



べた展示会や地元出身の大学院生の個展、平和をテーマにした日米作家の作品展…。今秋には商店街に絵画や彫刻などを

## 過疎進む古里に活力

みずの・みなし 1959年、広島県安芸太田町戸河内生まれ。戸河内小、広島女学院中・高、武蔵野美術短大、大阪芸術大卒。同大卒業後、陶芸家の助手として渡米し、現代アート作家の水野峰夫さん(72)と出会い結婚。峰夫さんと長男陶見(とうみ)さん(24)は米国に暮らす。

飾るイベントも計画中になった」。東日本大震災だ。「アートを通じて地域の人が増えればうれしい」。中高の美術教師の影響で芸術に興味を持った。短大で食器のデザインや制作、大学では土を使った表現方法を学び、米国へ。現代アート作家と結婚後は、夫の創作活動や作品の販売をサポートしてきた。

長く暮らしたロサンゼルスでは、言葉や文化の違いに戸惑い、作品が売れず苦しい時もあった。そんな時に思い浮かんだのは、山を背に田畑が広がる実家近くの風景。「帰る場所があることが支える」。

人口減少が止まらない町の現状に危機感を持つ。一方で、創作活動に必要な素材にあふれ、ゆつくりと時間が流れる山里の良さにあためて気付いた。アートイベントの裏方をこなし傍ら、高齢者が食べやすい食器作りにも取り組む。「アートは地域の良さを引き出したり、つながりを生んだりする。作家と地域の橋渡しもできたら」と語る。

(山田太一)